

こんにちは
日本共産党

市議員

西野さち子です



くらしの目線で市政を変える

くらし、福祉が
いきづく伏見を

いま 憲法市長！！

市営住宅の浴そうは 京都市の責任で取り替えを



醍醐地域の市営住宅の住民の皆さんから「浴槽の改修は市の責任でしてほしい」という請願が市議会に提出されました。570筆を超える署名を持って、市会の全会派に紹介議員のお願いをされたそうですが、日本共産党以外の議員は断られたそうです。

古くなった浴槽は錆でザラザラになったり、穴が開きそうなものもあります。また、浴槽の高さが60cmのものもあって、高齢者は高くて入れない方もあります。しかし、取り換えは高額ですから大変です。大家である京都市の責任で取り替えるべきです。

10年以上経った風呂釜(バーナー)

「京都市は責任をもって浴そうを改修してほしい」市議会に願いを持ち寄られた醍醐、小栗栖の市営住宅にお住まいのみなさん。



第28回 醍醐母親大会

本田久美子さんと街頭から訴え

桃山南 山田屋スーパー前



桃山南学区の山田屋の前で、西野市議は本田久美子さんと一緒に、京都市長の住民の声を聴かない市政を告発しました。

は市が改修や取り換えをすることになっていますが、最初の請願を出してから10年近くかかりました。願いが実現しました。浴槽も3度目の請願です。願いが実現まで頑張りましょう。

「子どもたちに憲法どおりの未来を」

11月15日、醍醐いきいき市民活動センターで28回目の醍醐母親大会が開かれました。毛利崇弁護士の「なぜ戦争法を廃止しなければならないか」についての講演は大変わかりやすく、時間があっという間に過ぎてしまいました。女性たちに交じって男性の姿もあり、皆さんうなずきながら聞き入っておられました。

その後、各団体や地元からの発言や報告がありました。西野市議はごみ問題や南部クリーンセンターの展望台やバイオガス施設の問題などについて報告しました。最後に「戦争法」廃止に向けてのアピールが採択されました。

西野市議は「高くて払えない国民健康保険料の滞納世帯には容赦なく差押えです。今の市長になってこの7年で差押えは5倍近くになっています。また、高さなどの規制緩和でまち壊しが進み、市民の財産が民間企業に売られています。戦争法に反対し、憲法を守る市長を誕生させましょう」と訴えました。本田久美子さんは「戦争法は反対です。敬老乗車証は守ります。地域の交通問題の解決に取り組みます。」と訴えました。

代表質問します!!

11月市会が11月27日～12月11日の予定で開かれます。西野市議は12月2日の本会議で、日本共産党を代表して質問します。TVでも放映されますが傍聴にぜひおいでください。